

令和2年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立砂山小学校

作成日

令和 2年 3月 8日

1 教育目標

豊かな感性と知性を身につけ、たくましく生きる子供を育てる

【めざす子供像】

「す」てきな言葉いっぱい 「な」かよしの輪いっぱい 「や」る気いっぱい 「ま」ごころいっぱい

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ○県学習到達度調査で基本問題の正答数が県平均を上回る。 ○子供がわかる授業、子供主体の授業実践をする。(90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめのない学校づくりをする。(100%) ○保護者と連携しながらの道徳・人権教育の充実。(90%) ○挨拶のできる子供の育成(90%) ○清掃活動に励む子の育成(90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「早寝、早起き、朝ごはん」に家庭で取り組むとともに、全校で体力づくりをする。(100%) ○避難訓練を年3回計画・実施する。(100%) ○テレビやゲームの時間を短縮できるよう家庭と連携して取り組む。(90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の情報を発信し、子供たちの活動の様子等を保護者と地域に伝えられるようにする。(90%) ○校区で接続、連携の充実に向け、実践する。(90%)
重点目標に対する	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍という厳しい状況ではあるが、すべての子供に豊かな学びの場の保障し、基礎学力の向上を図っていききたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「いじめのない学校づくり」に全力で取り組んでほしい。 ○「挨拶のできる子供の育成」はまだまだ達成していない状況だが、地域の方や近隣学校の先輩等との交流を進めていく中で高めていく必要があると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者、地域と連携しながら家庭教育支援の充実を図っていききたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今年度はコロナ禍のため、制限された中で「地域先達」の取組であったが、方針は良いし、進めていくべきである。
取組状況に対する	<ul style="list-style-type: none"> ○県到達度において、学年、教科により、県及び市平均を上回っているところや下回っているところがある。二極化の傾向を吟味し、個別の支援を充実させていく必要性もあると感じる。 ○書く力、読み取る力等の課題を分析し、系統だてて取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめでの取り組み等、保護者にもっと学校の状況を啓発し、学校と保護者、地域が相互理解しながら学校教育を進めていく必要があると考える。 ○50年以上も続くろう学校児童生徒との交流は、子供たちにとって計り知れない大きな学びとなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○遅刻が多いと聞いたが、実際に遅刻の状況はどのようなものか。 ○朝ごはんを食べて来っていない子供はどれくらいいるのか。また、家庭の状況はどのようなものか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍の中であまり学校に行く機会がなかったため、HP等の積極的な活用は良かったと思う。
取組の適切さの検証結果	<ul style="list-style-type: none"> ○全ての学力は「読解力」がもとになる。色々な経験を積むことで成長を促せていけるのではないかと。 ○「言葉」を大切にしていこうと「言語力」の育成につながる。学校の話の家でしない子もいるが、そういった対話の重要性が教科の素地になるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標(指標)設定との関わりで、いじめの早期発見、早期解決を目指す取組の推進が必要になり、保護者とも連携しながら進めていく必要がある。 ○子供だけでなく、保護者の人権意識を高める一層の取組が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校としての取組は進めていると思うが、学校だけでは解決できない家庭支援の課題が浮き彫りになってきたと感じる。 ○「早寝・早起き・朝ごはん」等の家庭教育の推進の課題も大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度に引き続き、学校便りを地域に配布しているが、今年度は特に学校の様子を知っていただく機会となった良かった。 ○HPで掲載する機会も増えて、学校に行かなくても様子が分かって良かった。
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> ○県和商では信愛の教育学部に進む生徒もいる中で、教員志望の生徒を放課後の学習ボランティアとして小学校に派遣することは、双方にメリットがあり、是非実現したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権参観は保護者の啓発にもなるためこのまま続けていきたい。 ○保こども園、中高生、ろう学校児童生徒との交流を積極的に進めることにより子供たちの心の教育をより一層推進してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の中で保護者に支援していきけるような仕組み作りが必要になってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の皆様にご協力いただき、地域先達事業をより拡大充実させていきたい。 ○高校生との読み聞かせの機会をさらに広げていきたい。

3 その他のご意見

○保こども園小中高支援学校の連携をさらに進めてほしい。

○コロナ禍での学校教育について、困難なことが多々あったことと思いますが、今年度の取組を振り返り、来年度の砂山小学校の教育活動がより充実したものになるように工夫改善していきたく。

○令和3年度の砂山小学校創立100周年記念に向けて、学校、保護者、育友会、地域が連携協力して記念行事成功のために取り組んでいきたい。